

I 調査の実施概要

1 調査目的

時代とともに変化する市民意識の動向と現在の多様なニーズを把握し、今後の本市施策、事業の検討、推進、評価等の基礎データとして活用するため、本市のまちづくり（取り組み）に対する「満足度」や「重要度」について、調査しました。

2 調査方法

(1) 調査対象者

郡山市内に在住する満18歳以上の男女（平成27年度調査は満20歳以上）

(2) 標本数

2,500人（男性1,250人、女性1,250人）

〈内訳〉

	標本数	性別		年齢別							
		男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
全体	2,500	1,250	1,250	75	348	421	459	424	480	293	
地区別	旧市内	956	478	478	26	135	154	185	174	172	110
	富田	198	99	99	5	31	38	40	31	34	19
	大槻	244	122	122	6	30	41	45	41	51	30
	安積	254	127	127	7	36	45	46	40	48	32
	三穂田	38	19	19	2	4	5	6	6	9	6
	逢瀬	36	18	18	2	4	5	5	6	9	5
	片平	48	24	24	2	6	9	7	8	10	6
	喜久田	92	46	46	2	12	19	18	14	17	10
	日和田	74	37	37	2	11	14	15	10	14	8
	富久山	266	133	133	8	45	51	49	43	46	24
	湖南	30	15	15	2	2	3	2	6	9	6
	熱海	44	22	22	2	5	5	6	8	11	7
	田村	142	71	71	5	19	22	23	23	32	18
	西田	36	18	18	2	4	5	6	6	8	5
中田	42	21	21	2	4	5	6	8	10	7	

(3) 抽出方法

住民基本台帳（平成28年10月14日現在）により年代、地域を考慮した無作為抽出

(4) 回答方法

郵送による返送、インターネットでの返信によるアンケート方式

(5) 調査期間

平成28年11月2日～平成28年12月7日（36日間）

3 調査項目

(1) まちの住み心地について【住みやすさ】

- ①郡山市は住みやすいまちですか
- ②今後も郡山市に住みたいと思いますか

(2) まちづくりについて【満足度】

第五次総合計画に掲げる施策を調査項目の基本とした7分野43項目について、現在の取り組み状況における「満足度」を調査しました。

(3) これからの取り組みについて【重要度】

まちづくりと同様7分野43項目について、今後重点的に取り組んでほしい施策の「重要度」を調査しました。

分 野		項 目
I (8項目)	市民協働・ 人権・行政経営	(1)市民協働 (2)広聴広報 (3)ユニバーサルデザイン
		(4)男女共同参画 (5)行政経営 (6)シティプロモーション
		(7)高度情報化 (8)広域行政
II (8項目)	教育・文化・ スポーツ・交流	(9)乳幼児教育 (10)学校教育 (11)青少年の健全育成
		(12)生涯学習 (13)歴史・文化芸術
		(14)音楽都市こおりやま (15)スポーツ・レクリエーション
		(16)都市交流・国際交流
III (7項目)	子育て・福祉・ 保健	(17)子育て (18)地域福祉 (19)高齢者福祉
		(20)障がい者福祉 (21)健康づくり (22)医療 (23)生活衛生
IV (5項目)	新エネルギー・ 環境	(24)新エネルギー (25)環境活動 (26)ごみ対策
		(27)自然環境 (28)住環境
V (7項目)	産業・観光・ 雇用	(29)農業 (30)地域商工業 (31)ショッピング・レジャー
		(32)産業創出 (33)観光 (34)6次産業化 (35)雇用促進
VI (4項目)	都市計画・ 交通・防災	(36)計画的なまちづくり (37)交通・道路 (38)防災
		(39)防犯・交通安全・消費者対策
VII (4項目)	原子力災害対策・ 復興	(40)除染 (41)健康管理 (42)子ども活動支援
		(43)風評の払しょく

4 回答状況

- (1) 発送数 2,500 件
- (2) 有効回収数 1,133 件
- (3) 回収率 45.3 % (対前年比 ▲6.3%)

※調査項目の各データの百分率については、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表記しています。そのため、合計が100.0%にならない場合があります。